

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成 27年 6月 15日

大分県知事
 広瀬 勝貞 殿



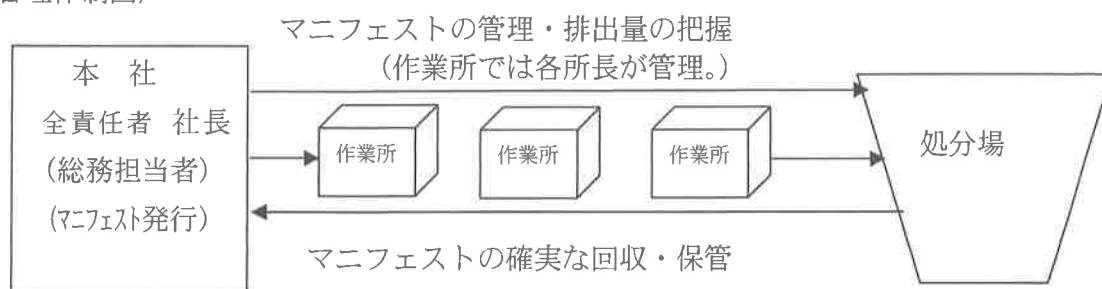
提出者
 住 所 大分県佐伯市弥生大字小田1089-2
 氏 名 株式会社 盛田 組
 代表取締役 盛田 浩史
 電話番号 0972-46-2760

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 盛田組
事業場の所在地	大分県佐伯市弥生大字小田1089番地2
計画期間	平成27年4月 ~ 平成28年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業 (土木工事業)
② 事業の規模	前年度完成工事高 654,000 (千円)
③ 従業員数	19名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>アスファルトやコンクリート、伐木などは、再生施設へ搬入。 混合廃棄物やがれきなどは、できる範囲で仕分けして減量する。</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



各作業所ごとに、廃棄物処理委託契約書を作成。契約時には、許可証の写しを確認して適正な処理業者に委託。マニフェストの回収により排出量の把握、報告。現場ごとにチェックする。最終的に本社にて管理。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	1073.96 t	t
	(これまでに実施した取組) 工事現場から出る廃棄物なので、ほとんどは再生利用されるため、特に抑制していないが混合廃棄物の分などは分別して少しでも減らすようにしている。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	960 t	t
	(今後実施する予定の取組) 分別の徹底により、混合廃棄物ゴミ等を減らす。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 紙くず・混合廃棄物・廃プラの廃棄物は分別して、出すようにしている。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物・紙くず・廃プラの分別の徹底。減量

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 26 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現場内利用できるものがあれば検討する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 26 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 汚泥は脱水できるよう検討する。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 26 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 26 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	1073.96 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	91.91 t	t
	再生利用業者への処理委託量	982.05 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 工事現場から出る廃棄物は、そのほとんどが再生できるので、中間処理業者に委託して再生利用をしている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	960 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	10 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	950 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用の促進。分別の徹底。		
※事務処理欄			

別紙

平成26年度 廃棄物発生量

(平成27年4月現在)

単位 t	発生 総量	アスファルト	コンクリート	木・根・草	廃プラ	残土	汚泥	紙くず	その他がれき	混合廃棄物
	1073.96	620.19	153.17	169.09	5.97	44.26	49.07	3.23	13.1	15.88
全委託処分量 再生(再利用)	982.05	620.19	153.17	169.09			39.6			
中間処理	(982.05)	(620.19)	(153.17)	(169.09)	5.97	44.26	9.47	3.23	13.1	15.88
最終処分	91.91									
計	1073.96	620.19	153.17	169.09	5.97	44.26	49.07	3.23	13.1	15.88

今年度の目標

(平成27. 4月～平成28. 3月)

単位 t	発生 総量	アスファルト	コンクリート	木・根・草	廃プラ	残土	汚泥	紙くず	その他がれき	混合廃棄物
	960	500	200	250	3	0	0	3	0	4
全委託処分量 再生(再利用)	950	500	200	250	0	0	0	0	0	0
(中間処理)	(950)	(500)	(200)	(250)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
最終処分	10	0	0	0	3	0	0	3	0	4
計	960	500	200	250	3	0	0	3	0	4

※工事の受注状況及び工事内容により、数量は変更になります。